

大田区自立支援協議会 相談支援部会要旨

文責：(渡邊・障がい者総合サポートセンター一部修正)

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 相談支援部会 (第3回)			
(2) 開催日時	平成30年7月25日(水) 9:30~12:00			
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター 5階多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	委員 (部会長：神作委員)			
	古怒田 幸子	野崎 陽一郎	鈴木 啓太	関屋 慶子
	茂野 俊哉	渡邊 真由美	中越 祐一	田中 隆博
	重清 国夫	大窪 恒	小嶋 愛斗	山田 悠平
	区職員出席者 小川係長 (蒲田地域福祉課) 友成係長 (調布地域福祉課) 江口係長 (糀谷・羽田地域福祉課) 金子係長 (蒲田地域健康課) 徳留係長 (上池台障害者福祉会館)			
事務局出席者 障がい者総合サポートセンター：木伏係長、森田、柳田				
(5) 内容・要旨	<p>1、2は省略</p> <p>3、連絡・確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議報告 合同部会 9月4日(火) 10:00~12:00 「きなりのくらしへ」「つなぐ わたす ひろがる」をテーマにグループワークを行うという意見が出ている。後日、出欠を取る。 ・大田区障がい者施設推進会議の報告 7月13日 障がい者施設推進会議の開催 大田区からは重点事業の説明があり、協議会からも各部会で検討した障がい者施策推進プランに関わる課題や成果の報告等があった。 ・高次脳障害におけるコーディネーター事業 拠点：荏原病院 以前、アドバイザー事業の電話相談は年間に10件ほどだった。 次に繋げる視点が弱い現状がある。地域の状況把握、ニーズの調査が必要。 <p>4、議題</p> <p>(1) 個別支援会議の振り返り</p> <p>テーマ 「介護保険サービスと障害福祉サービスを併用する際に、 高次脳機能障がいのある方がおかれている地域の状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業部会では、協議会で抽出された課題を新たに3つの時間軸(受傷、現在、将来)で分けし、今回の検討資料として作成した。 グループワークでは、各課題の解決方法を話し合い、結果発表により全体で共有した。 ・受傷時は、ご本人や家族の障害受容のための支援、退院から将来に向けては、医療ソーシャルワーカー、コーディネーター、ケアマネージャー、地域包括 			

支援センター、家族会などと繋がることの方が重要であり、障害の特性やそれぞれの機能等の知識が共有できるような学びの場が必要という意見も聞かれた。また、ご本人が外部から支援を受けるだけでなく、同年代の同じ病状の方と共に過ごす機会を持つことで、自分自身から障がい気付くという内面での変化も重要という話があった。

(2) 相談支援体制の検討

障がい者総合サポートセンター相談支援事業所の機関としての役割について説明。

- ・相談支援体制強化の取組として、民生委員や、ケアマネージャーとの連携を作ろうとしている。

○体制上での課題について委員からの意見

- ・計画相談が手一杯で対応できない。児童では、4ヶ月待ちと言われており、セルフにならざるを得ない現状。収入が少ないため事業所が立ち上げられない。相談員が少ない。この件について話し合いを持つ機会があってもよい。
- ・基本相談員をどこかにつなぐのも難しい。
- ・基幹相談支援センターに、相談員は、スーパーバイズを求めている。
- ・委託相談支援事業所である地域生活支援センターや上池台障害者福祉会館・志茂田福祉センターとの関係も早急に検討が必要。

5、意見出しカード記入

《次回日程》

○合同部会

日時 平成30年9月4日(火) 10時00分～12時00分

場所 さぼーとぴあ 5階多目的室

○第4回 相談支援部会

日時 平成30年10月3日(水) 9時30分～12時

場所 さぼーとぴあ 5階多目的室